

令和3年6月 第2回定例会

補正予算はじめ10議案を審議

5月27日から6月17日まで

今議会に上程された議案・採決結果等は次のとおりです。

- ・ 条 例 (2件) 可決 (全会一致)
- ・ 補正予算 (3件) 可決 (全会一致)
- ・ 事 件※ (3件) 可決 (全会一致)
- ・ 同 意 (2件) 同意 (賛成多数)

※事件とは…

予算や条例関係以外のその他の議案のことをさします。

議 案	内 容
条 例 木島平村資金積立基金条例 (一部改正)	木島平村ふるさとづくり基金※用途(区分)見直しによる改正。 ※ふるさとづくり基金とは… ふるさと納税からの積立基金のことです。
条 例 木島平村情報通信施設条例 (一部改正)	ケーブルテレビ加入負担金について、分割納付も可とするための改正。
令 和 3 年 度 補 正 予 算 一般会計 追加 1,761万3千円※ (総額 35億1,723万8千円) 財源 国・県の補助金 ほか ・ 地方創生臨時交付金 ・ 新型コロナウイルス感染症 セーフティーネット強化交 付金 ・ ひとり親世帯生活支援特別 給付金 など ※追加金額は、新型コロナウイルスの影響により中止とな った事業などの減額補正も含ま れます。 減額補正の内容は、紙面の都 合上、省かせていただきます。	<おもな歳出> 【総務課】 ○企画費 54万4千円 姉妹都市交流及びふるさと応援団宿泊補助 の運用方法の変更による組み替えほか。 【子育て支援課】 ○児童福祉総務費 1,069万3千円 新型コロナ長期化による給付金ほか。 ・ 低所得子育て世代生活支援特別給付金事業 ・ ひとり親世帯生活支援特別給付金事業 (村独自に1人1万円を追加給付) 【産業課】 ○農業振興費 390万円 ・ 道の駅ファームス木島平の施設運営計画 の策定委託料(280万円) ・ 対象者増加による農業後継者等育成事業 奨励金の補助金ほか(110万円) ○農産物ブランド化推進費 199万3千円 有機センター事務室の環境悪化改善のため、 コンテナハウス賃借料及び工事費(174万 円)ほか。 ○商工振興費 1,449万1千円 村内の経済対策として、村民一人当たり 3000円分の商品券配布事業費。 ○観光施設管理費 52万2千円 スキー場の湧水(不明水)の水質検査及び 止水工事費。

議 会

No.237



議会に対するご意見
をお聞かせください。

電 話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

議案		内容
令和3年度 補正予算	一般会計(続き)	【建設課】 ○土木費 355万8千円 ロータリー除雪車の修繕費(299万円)ほか。 【生涯学習課】 ○公民館費 19万8千円 中学生を対象としたロボットプログラミング教室委託料。 ○体育施設管理費 72万6千円 クロスカントリー競技場とジュニアサッカー場を使用分けするためのアスファルト工事費用。
	情報通信特別会計※ 追加 13万2千円 (総額 5,732万円)	老朽化に伴う取材用カメラの三脚購入費。 ※情報通信特別会計とは… ケーブルテレビ(ふう太ネット)の運営費用に関わる会計です。
	学校給食特別会計※ 増減なし (総額 2,072万9千円)	金融機関への振替手数料を一般会計から支払うための組み替え。 ※学校給食特別会計とは… 家庭から徴収した給食費を食材の支払いに使うための会計です。
事件	財産の取得について	○取得財産 大型ロータリー 1台 ○契約金額 4,488万円 ○契約相手 株式会社 前田製作所
	工事請負契約の締結について 財源 過疎対策事業債※ 国の補助金 ほか	○契約目的 村体育館耐震改修工事 ○契約金額 5,467万円 ○契約相手 株式会社 サンタキザワ木島平支店 ※過疎対策事業債(過疎債)とは… 過疎地域に該当する市町村が発行できる地方債であり、元利償還金の7割が後年度、地方交付税として国から交付される有利な借入金です。
	村道路線の認定について	木島平村道 818号線(旧役場前の県道から新庁舎までの取付道路)
同意	農業委員会委員の任命につき認定農業者が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	農業委員会委員の選出にあたり認定農業者※が過半数に満たない場合は、議会の同意を得る必要がある。 ※認定農業者とは… 自ら経営改善に取り組む農業者のうち、農業経営改善計画を作成し、村から認定を受けた農業者のことです。
	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	農業委員会委員に10人を選任。 (選任された農業委員は農業委員会だより8月号に掲載予定)

《賛否の分かれた議案の結果》

議案	議員名									結果
	山崎 栄喜	山浦 登	山本 隆樹	芳川 修二	丸山 邦久	勝山 卓	土屋喜久夫	勝山 正	江田 宏子	
農業委員会委員の任命につき認定農業者が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	○	○	○	×	×	○	×	○	○	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	×	×	○	×	○	○	同意



起立採決の様子

■表の説明:○賛成(起立)・×反対(反対討論は36ページ)
(議長は議決に参加しないため、議員名から外してあります)

6月定例会同意議案について反対討論

「農業委員会委員の任命につき認定農業者が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意」について賛否が分かれ、土屋議員が反対討論をしました。(要旨抜粋)

土屋 喜久夫

村は、昭和30年農業立村として発足した。

近年「農を基軸とする」「農を活かす」というスローガン、また6次産業に向けて農の進展のため、農の拠点施設等、村政を推進してきた。

しかし、農産物価格の低迷、農業の担い手不足から遊休荒廃農地の増大など、農業を取りまく環境は非常に悪く、課題は山積している。

提案の同意案件は、村の農業委員定数10人に対して5人の認定農業者を定める農業委員会法の抜け道を探るものであり、村内にある農業認定団体34経営体の認定農業者の理解を再度求めるべきと考えている。安易に運用をすべきではないことから、本議案に不同意を表明する。



討論をする土屋議員

次回定例会の開催予定

○9月議会定例会

開 会 日 8月26日(木)

一般質問① 9月8日(水)

一般質問② 9月9日(木)

閉 会 日 9月17日(金)

○請願・陳情の受付締切日

8月17日(火)

議会事務局へ直接ご持参のうえ、事務局員に説明をお願いします

みなさんからの請願・陳情

受理番号	件 名	申請者・提出者	採決結果
陳情第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	飯水岳北地区労働組合連合議長 小林則夫 ほか1名	不採択

会期中のできごと

村内施設を視察しました



ホテルシュエネスベルク

6月14日、村内施設の現状を把握するため、現在休館中のホテルシュエネスベルク、郷の家、馬曲温泉、旧北部小学校のグラウンド跡地にできた分譲地ヒルズタウン御殿有機センターの5か所を視察しました。

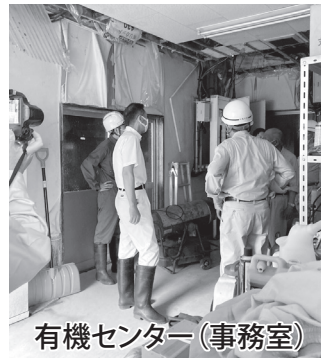
各施設で、担当から説明を受け、施設の老朽化修繕の必要な箇所などを確認しました。

翌日には、道の駅ファームス木島平の加工室などを視察しました。

これからも、村の財産の適切な活用方法を探り、村と協議していきたいと思えます。



農村文化伝承施設 郷の家



有機センター(事務室)



道の駅 ファームス木島平

6月定例会 審査意見

予算決算常任委員会 5件

① 多分野で横断的に活動する「地域連携コーディネーター※」が配置され、複数課(係)にわたる任務を遂行している。関係部署間で、日々の職務及び安全管理等、業務実態を十分把握されるよう配慮されたい。

② 「有機センター」の今後の方向性が検討され、先進地の視察等も計画されている。方針の決定や関係農家との協議等、早目の対応に配慮されたい。また「有機の里」のあり方も併せて検討されたい。

③ 中学生対象の「プログラミング講座」の予算が計上されている。希望者が想定人数を超えた場合、希望する生徒の意欲を損なわないよう配慮されたい。

④ 道の駅「運営計画策定業務」の委託料が計上されている。業務委託前に、効果を十分検討し、計画が村財政に負担とならないよう、慎重に対応されたい。

定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧になれます

会議録は、定例会・臨時会の本会議(一般質問含む)記録を載せています。次の場所・方法で閲覧できます。

- ・ 役場2階の議会事務局での閲覧(平日午前8:30~午後5:15)
- ・ 村ウェブサイトに掲載

* ウェブサイトへのアクセスは、次の順に進んでください。

木島平村ウェブサイト→行政ページ→行政情報→木島平村議会→会議録



スマートフォンからは、こちらのQRコードを読み取りください。

※地域連携コーディネーターとは…今年度は2人の会計年度任用職員を配置し、教育や産業など多様な事業を地域とつなげる役割としています。

⑤ ホテルシユースベルク等、村有財産(施設・土地)の管理について、適正に行われたい。

各議員の一般質問の項目

6月9・10日に、8人の議員が一般質問を行いました。

【第1日目(6月9日)】

● 勝山 正

- ① 国・県の千曲川河川整備状況および村の考え・対応について
- ② (財)長野県下水道公社への総合一括管理について

● 山崎 栄喜

- ① ファームス木島平について
- ② 押印の廃止等について
- ③ 議会対応について

● 山本 隆樹

- ① 樽川河川整備事業について
- ② 下高井農林高校の存続について
- ③ ゴミの減量化について

● 山浦 登

- ① 国民健康保険の均等割保険税の減額について
- ② 新型コロナウイルス対策について
- ③ 個別施設計画策定と村施設の維持管理更新について
- ④ 人口減少過疎化の進行に対する木島平村の将来のビジョンについて

【第2日目(6月10日)】

● 丸山 邦久

- ① 一般質問における村長の答弁の重みについて
- ② 村の水害対策について

● 江田 宏子

- ① 企業や大学等との連携協定のあり方について
- ② コロナ禍での関係人口拡大の取り組みについて
- ③ 気候非常事態宣言による具体的な取り組みは

● 芳川 修二

- ① 村の人口減少問題について
- ② 村政執行の基本姿勢について
- ③ 第三セクター(株式会社)の経営体制について

● 土屋 喜久夫

- ① 自治体経営は如何に?
- ② 行政情報の周知公平性?
- ③ 木島平農業の振興策を問う

※質問・答弁の要旨は来月(8月号)の議会だよりに掲載します。

「3月議会の審査意見」に対する村の対応 (趣旨 抜粋)

令和3年3月第1回議会定例会で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。

(5月27日本会議「諸般の報告」より)

総務民生文教常任委員会

意見① 村体育館の耐震工事が計画されているが、避難所にも指定されている施設であり、関係機関との調整に遺漏の無いよう配慮されたい。

対応① 村体育館の耐震工事期間は、概ね本年11月から令和4年3月を予定。工事期間中は、代替施設の確保など関係者と調整していく。



昭和50年に建てられた村体育館

意見② 木島平村気候非常事態宣言が上程されているが、村民の行動指針として実効性を担保されたい。

対応② 地球温暖化に対する村の方針等を示したものであり、具体的な取組みは、今後計画策定を進めるとともに、事業推進についてもご理解とご協力をいただき進めていく。

意見③ 学習用モバイルルーター※の貸付事業が始まるが、家庭間に差異の出ないよう、周知、指導をされ、児童生徒の教育の公平性に留意されたい。

※モバイルルーターとは…

回線工事を行わなくてもインターネットが利用できる通信端末のことです。

対応③ 貸付の対象は、自宅にインターネット環境がない家庭とし、申込み多数の場合は(貸付台数は26台)、住民税非課税世帯や最高学年の児童生徒を優先に貸付し、貸与が受けられなかった場合は、学校や公共施設のWiFi(ネットワーク)を利用していただく。

予算決算常任委員会

意見① スキーリフト使用料が、覚書のもと収受されてきた。補正予算100万円減免は、今シーズンのリフトの収益から鑑み、疑問である。会計の独立性を保つため、減免は再考されたい。

対応① 施設使用料の名目のため、減免せず料金をいただくこととする。

意見② 木島平観光株式会社債務負担行為1億円が計上されている。村貸付金含め、再三、監査委員から貸借書類の整備が求められており、村として信用失墜とならないよう至急対応されたい。

対応② 監査後、直ちに書類の整備を行っており、引き続き、必要な書類整備等を徹底していく。



意見③ 「定年引上げ関係例規」整備支援業務の予算が計上されているが、定年引上げは国に先行する事なく、村民の理解が得られるよう考慮されたい。

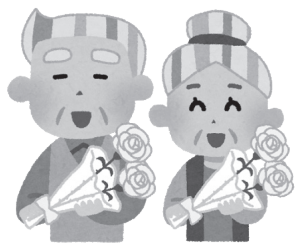
対応③ 村としては、国及び県の状況を確認しながら適切に進めていきたい。

意見④ 農林高校との連携強化をめざす人材の配置を予定されているが、農林高校の意向を重視されたい。

対応④ 今年度から新たに「地域連携コーディネート」として配置し、業務については、4月に村と農林高校とで打合せを行い、地域との連携事業について何ができるか学校の意向を確認した。今後、農林高校と連携を密にしながら進めていく。

意見⑤ 情報通信施設が村直営となるが、NTT光回線の村内敷設が現実的となる中、今後の情報通信事業のあり方を十分検討し、財政負担に配慮されたい。

対応⑤ 運営方法の形態を問わず適正な財政負担の中で事業を推進していくよう努めていく。



対応⑦ 今年度も引き続き、村と社協合同により実施することとした。村民と社協の関わり合いが減少しないよう図っていく。

意見⑦ 敬老祝い品の予算が社協から村対応に変更され、村のみでの敬老祝賀訪問となるが、今後とも村民と社協の関わりが減少しないよう、村としても尽力されたい。

対応⑥ 業務を村直営で進めることにより、事業費を使用料に計画変更し、事業費全額を宿泊施設へ配分可能とした。

意見⑥ ふるさと応援団・調布・木島平交流クラブ会員への宿泊費補助事業が予算化され、観光振興局での取り扱いを想定している。宿泊施設への配分が最大となる施策が重要であり、運用方法を再考されたい。

意見⑧ ゴミ分別アプリの導入を計画されているが、各家庭等の廃棄物処理の実態を把握し、導入の必要性を再考されたい。

意見⑨ 若者センター研修室の床張替えが計画されているが、避難所機能、衛生面等に充分配慮し、施行されたい。

対応⑨ 避難所機能、衛生面等にも配慮しながら現況（床材）に即した施工をしていく。

意見⑩ 小中学校に配備したタブレットリース料が年額500万円に及ぶ。予備として配置する金額としては膨大すぎる。反面、総務費の用紙類の費用は増大している。ペーパーレス化を見据え、全庁的にタブレットの有効活用を検討されたい。

対応⑩ 生涯学習課の講座やちっちゃな図書館学習室へ配備、学校での学習用タブレット端末の予備機として活用。また、保育園のICT化を進めるための有効利用も検討中。

意見⑪ 道路草刈機の修繕に700万円余が計画されている。修繕費としては膨大であり、農業振興公社に配備した除草機械の活用等も想定できる。限られた予算で最大限の効果を得られるよう配慮されたい。

対応⑪ 村道の維持管理のため、現場状況に適した機械による作業が効率的。作業機の特性もさまざまであるため、今後も効率的な作業ができるよう努めていく。

意見⑫ 地域おこし企業人の観光振興局への導入が計画されている。第三セクターや包括連携協定した企業等と連携して、真に村民経済の向上に資するよう調整されたい。

対応⑫ 観光産業について実績やノウハウを持つ民間との連携が必須。効果が上がるよう進めていく。

意見⑬ 観光振興局の業務を村職員が代行している印象が強い。行政から独立して、民間感覚で村内経済を連結すべきであり、組織目的を達成できるよう指導されたい。

対応⑬ 民間のノウハウとフットワークを十分生かし、地域振興につながるよう村も支援をしていきたい。

意見⑭ 新規にUターン住宅補助金を計画された事は評価するが、実施にあたっては、交付対象者など事業内容を精査した上で実行されたい。

対応⑭ 今後の需要の動向も見ながら、効果のある制度になるよう検討していく。

意見⑮ 新型コロナ対策として、経済対策に多額の予算計上がされている。観光事業は、村内の経済を担う重要な産業ではあるが、新型コロナ蔓延地域との交流について、約40%の高齢者を抱える本村として、村民感情に十分配慮されたい。

対応⑮ 地方創生臨時交付金を財源にしたコロナ対策事業は、経済対策が中心となっているが、ワクチン接種、ひとり親世帯や子育て世帯支援事業なども進めている。感染状況を見ながら適期に実施できるよう進めていく。

【お詫びと訂正】

5月14日に発行された議会だより5月号20ページの議会構成表において、議会運営委員会委員に丸山邦久議員の氏名を記載していませんでした。
お詫びして訂正いたします。